

高収益作物次期作支援交付金申請に係る 申告書 記入例

I 事前に準備する物

- ◆ 取組計画書（様式6-2）と、その作成に必要な書類（→農地台帳等）
- ◆ 前年作及び今年作の売上げがわかる資料（→出荷伝票等）

※ 証拠書類は、事業実施主体に提出する必要はありませんが、5年間保管の上、事業実施主体からの求めに応じて提出できるようにしてください。

※ 厳選出荷に対する支援を受ける場合は、作業日誌などを基に記入してください。

→これらをもとに、売上げや作付面積などを算出します

II 作成の手順

STEP 1

5(5.5)万円
/10a
に取り組む方

様式甲

80万円/10a
に取り組む方

様式乙

25万円/10a
に取り組む方

様式丙

STEP 2

様式甲,乙,
丙を2つ以
上作成する
方

様式戊

STEP 3

厳選出荷に
取り組む方

様式丁

STEP 4

全員

総括表

キャベツ、にんじんを作付する場合

高収益作物次期作支援交付金申請に係る申告書

様式甲

要綱第4の2の(1)の支援のうち
【5万円(5.5万円)/10a】に取り組む申請者用

交付申請金額は、対象期間に出荷し又は廃棄し売上が減少した品目の「1. 減収額」、「2. 売上げが減少した品目の作付面積に対応する金額」又は「3. 次期作に取り組む面積に対応した5万円(5.5万円)/10aの交付申請金額の合計」のうち最も低い額となります。

1. 減収額

対象期間に出荷し又は廃棄し売上げが減少した品目名 ①	い	ろ	は	合計
	キャベツ	にんじん		
①の品目の前年作の売上額	2,000,000円	2,160,000円		A 4,160,000円
①の品目の今年作の売上額	1,750,000円	1,920,000円		B 3,670,000円
①の品目の減収額				C (A-B) 490,000円 <input checked="" type="checkbox"/> ア
減収率 ※ 様式乙又は丙も提出する場合はこちらに記入せず、様式戊を記入	C 490,000円 ÷ A 4,160,000円 × 100			(D) 11% <input type="checkbox"/> イ

※売上額及び減収額の合計欄は100円未満切り捨て。減収率は小数点以下切り捨て。

2. 売上げが減少した品目の作付面積に対応する金額

対象期間に出荷し又は廃棄し売上げが減少した品目名 ①	い	ろ	は	合計
	キャベツ	にんじん		
①の品目の作付面積(平地)	50アール a		アール a	E(*) 50アール a
①の品目の作付面積(中山間地)		60アール a	アール a	E' 60アール a
①の品目の作付面積に対応する金額 平地	E 50アール a × 5万円/10a = F 250,000円			G (F+F') 580,000円 <input type="checkbox"/> イ
中山間地	E' 60アール a × 5.5万円/10a = F' 330,000円			

※作付面積の合計欄は1a単位。1a未満は切り捨て。

3. 次期作に取り組む面積に対応した5万円(5.5万円)/10aの交付申請金額の合計

次期作の高収益作物品目名	に	は	へ	H 630,000円 <input type="checkbox"/> ウ
	キャベツ	にんじん		

✓ア、イ、ウのうち最も低い額(=交付申請金額)にチェック

・対象期間は、令和2年2月～4月です。この期間に出荷し、又は廃棄し、出荷期間を通じた売上げが前年の同期間より減少した品目が対象となります(生産局長が公募毎に定めた品目については、追加が認められた期間を含みます)

・野菜といった大括りではなく、キャベツなど品目単位で記載してください

・今年作の売上額は、2月から出荷を終えた月までの額とします。ただし、出荷や精算が終わっていない場合は、売上げが確認できる直近月までの売上額を記載してください(長期間出荷され複数の農業者で売上げがプールされる品目は取扱が異なるので注意してください)

・前年作は今年作と同期間とします

・前年から規模拡大(縮小)した場合は、前年の売上げ額に規模拡大(縮小)の比率をかけた額を記入してください

・野菜価格安定制度の補給金を受けている場合は、前年作、今年作とも売上げ額に補給金を加えてください

・次期作に取り組む品目を記載します
・次期作で「キャベツ」を「ほうれんそう」に切り替える場合は、「ほうれんそう」と記載します

80万円、25万円/10aの取組(様式乙、様式丙)も同様に記入します